



インスピレーションになる

Weekly Report

2018~2019年度 No. 4

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 創立：昭和56年3月4日

例会場：A P A HOTEL 名古屋錦 中区錦三丁目 15-30 (052) 953-5111

事務局：名古屋市中区錦三丁目 15-30 A P A HOTEL 名古屋錦 560 号室
(052) 961-2399 (直通) (052) 953-5111 FAX (052) 961-2391

E-mail : meihokrc@beach.ocn.ne.jp

会 長：杉浦 定文 幹 事：香田 研二 会報委員長：入江 由希子 題 字：遠藤 友彦

クラブテーマ
未来に向かって

本日の例会(第1789回) 7/25(水)

◆夜間例会及びI.D.M.を行います。

(時間：午後5時30分～ 会場：アパホテル名古屋錦 4階旭の間)

次回の例会(第1790回) 8/1(水)

スピーカー：会員 宇都木 寧

題 名：「夏休み山に行こう！」

第1788回例会記録 7/18(水)晴

◆司 会 木村 雅一君

◆斉 唱 RS・それでこそロータリー

◆来訪者紹介 名古屋錦RC 藤岡 省吾君 他1名

出席報告

会 員 数	35名	前々回訂正	1786例会
欠席会員数	9名	欠 席 会 員	2名中
出席会員数	26名	MAKE UP	1名
出 席 率	74.29%	出席率訂正	96.77%

会長挨拶

会長 杉浦 定文



本日は名古屋錦ロータリークラブの藤岡会長、石井幹事をお迎えしての例会です。先週から体温より気温の方が暑い日が続いていますので皆さんお体には十分ご自愛頂きたいと思います。

我々の先祖が4足歩行から2足歩行になって劇的に変わっ

てしまったことがありました。動物の子供たちはすぐに立ち上がり歩き出すのに、人間の赤ちゃんは約1年近くかかります。それは超未熟児で生まれてくるからなのです。人間は2足歩行を行うことにより体を支える骨盤が狭くなり産道が狭くなりました。赤ちゃんが母親と一緒に生活できるようになるには約3年の年月を要します。それまでは食べ物などは父親が手に入れ子供と母親を食べさせないといけません。動物のオスが生涯で一番エネルギーを使うことはメスを手に入れることです。子孫を残すことは一番大事なことです。また強いオスがメスを独り占めするのはよくあることです。強い子孫を残していくという生き物の世界では当然のことなので、オス一匹で多くのメスを独り占めするわけですから当然溢れるオスが出てきます。あふれたオスはいつかそのハーレムの主になろうと虎視眈々とその座を狙い時には戦いを挑みます。その際武器となるのは大きい体と強い犬歯です。そのような試練を抱えた動物の犬歯は大きいのですが人間の場合、樹上生活から降りてサバンナに住んでいた頃の化石からすでに犬歯がそれほど大きくなかったようです。そのことはすでにオスたちはメスをめぐって戦う必要がなかったことを意味します。裏返せば一夫一婦制がすでに確立されていたらしいのです。メスを得るといって生涯で一番エネルギーを使う行為をしないことによって、そのエネルギーを1匹の雌と子供に向けた動物界では画期的なシステムでした。こうして一夫一婦制は人間の中で確立していきました。私たちの祖先はすでに太古の昔から現代人に通じる生活をしていたのです。またホモサピエンスは精度の高い石器を作れたことにより氷河期を生き残ることができました。こういう情報の共有こそ最後の勝者を決めたようなのです。古代も現代も情報の大切さというものは変わらないようです。

幹事報告

1. 次回例会(7/25水)は、午後5時30分より例会、引き続きI.D.M.を当アパホテル名古屋錦にて行いますので、お間違えのないようお願い致します。なお出欠票が未提出の方は、早急にご提出いただきますようお願いいたします。

2. 前年度のホームクラブ100%出席会員は、加藤 あつこさん、西脇 良一君、杉浦 定文君の3名です。後程、杉浦会長より出席表彰をしていただきます。

前年度ホームクラブ100%出席表彰

石黒直前出席委員長より、2017-18年度のホームクラブ100%出席会員3名が表彰されました。

加藤 あつこさん
西脇 良一君
杉浦 定文君



加藤 あつこさん
(向かって右)

西脇 良一君
(向かって右)



杉浦 定文君
(向かって右)



表敬訪問でご挨拶をされる
名古屋錦RC藤岡新会長と石井新幹事

クラブフォーラム

ロータリー財団委員会 本年度運営方針

ロータリー財団委員長 小關 敏光



ロータリー財団は、1917年にアーチ・クランプリ会長によって基金として発足し、1928年にミネアポリス国際大会で「ロータリー財団(The Rotary Foundation)」と名付けられました。

ロータリー財団は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流目的にのみ運営され、現在、次のような活動プログラムがあります。

1. 人道的プログラム・・・地域補助金等
2. 教育的プログラム・・・国際親善奨学金等
3. ポリオ・プラスプログラム

などです。

今年度の2760地区ロータリー財団委員会の委員長は、中村公彦(名古屋名東RC)さんで、ガバナー月信7月号によれば、「今年度は特にポリオ撲滅を最優先にして当地区1人当たり30ドル寄付を必達する年度にしたいと考えています」とのことで、当クラブでも多くの寄附をお願いしたいと考えております。

尚、地区補助金事業に関しましては、「補助金委員会」があり、上野広(名古屋昭和RC)さんが委員長をされています。2017-18年度には、地区補助金は57クラブ1委員会に配分されたとのことで、グローバル補助金事業についても申請数は増加しつつあるようです。

本年度は、当クラブでも、初めての試みではありますが、カンボジア方面への支援活動をすべく、補助金申請をしてみたいと考えております。1年間、ご協力をお願いいたします。

親睦活動委員会 本年度運営方針

親睦活動委員長 梅村 美知容



皆様こんにちは。奉仕と親睦はロータリーの原点です。会員が例会、イベントを通じてより親睦を深めたいと、思います。会の始まる前の握手は昨年引き続きいたします。新しい企画として女性会員のみの「マドンナ会」をたちあげました。先日、北村宅で、第1回をおこないました。手巻き寿司を食べながら、たいへん盛り上がりました。7月25日IDMでは、邦楽デュオかぐや、加藤訓音（三味線）、石原奈緒美（和太鼓&シンセサイザー）、他にもダンサーとしてミナ&リナも加わり、「世界の音楽を奏でる～津軽三味線からベンチャーズまで～」と題して、皆様に喜んで頂けるプログラムを用意しています。

会員増強委員会 本年度運営方針

会員増強委員長 岩田 満治



2760地区82RCの会員数は2018年度現在4859名
1ロータリー平均57.8名。

名北RC会員数は35名、82RC平均会員数に比較すれば約24名不足！

24名の増強は夢物語とは言え、3歩進んで2歩下がる努力は最低限必要では・・・今後当クラブはどうあるべきか、

・現会員の維持、

（会員がロータリーに留まる第一の理由は会員同士の友情と繋がりである）

・新会員が溶け込みやすい環境をつくる。

・女性会員を増やす、女性会員の入会を認めないクラブからの情報を得るには。

出来得る限りそのクラブへの訪問を増やす、新会員と共に、出来れば2名ないし3名で、新会員のビジターフィは会員増強予算にて負担する。

「メイキャップのみでは効果なし！」。

・入会への魅力を高める…入会候補者とはどのような人々か？

友人や同僚・クラブの奉仕活動やイベントで奉仕活動をした事のある人。

元会員や一度退会した会員がもう一度推薦ののち入会するケースもある。

学友・元ローターアクター・インターアクター・元米山奨学生と元青少年交換留学生の兄弟・親・祖父母・親族。

JCのOB会員で現会員からの情報収集及び勧誘を図る。

* 会員増強委員会も頑張りますが、会員の皆さま方も危機感を持ってのご協力を切にお願い致します。

ニコボックス

石井 弘子さん（名古屋錦RC幹事）

今期もよろしくお願ひいたします。二度目の幹事をする事になりました。

梅村 美知容さん 今年初めての理事会、お疲れ様でした。

石黒 勉君 2017-2018年、出席率100%の方は西脇良一君、加藤あつこさん、杉浦定文君です。おめでとうございます。

【本日は名古屋錦ロータリークラブの藤岡会長、石井幹事をお迎えしました。ごゆっくりして行って下さい。】

杉浦 定文君	伊藤 晋一君	梶川 久雄君	入江由希子さん
梅村 篤君	横井 登君	平子 明資君	小關 敏光君
岩田 満治君	加藤 昌之君	玉置 正樹君	北村紀子さん
近藤 朗君	西脇 多吉君	尾関 正一君	加藤あつこさん
柴山 利彌君	梅田 渉君	塚本 隆君	西脇 良一君
阿部 美男君	吉村知紗さん		